

立川市民オペラ公演 2014 《アイーダ》が 第12回 佐川吉男音楽賞・奨励賞を受賞!

《愛の妙薬》の公演準備も着々と進む中、大変嬉しいお知らせが届きましたので、ご報告いたします。このたび、立川市民オペラ公演 2014 《アイーダ》が、中小オペラ団体の主催する公演に贈られる「佐川吉男音楽賞」を受賞いたしました。今回、佐川吉男音楽賞に関西二期会の《魔笛》が、同奨励賞に立川市民オペラの会の《アイーダ》が選ばれました。

これは、進化を続ける立川市民オペラに関わる全ての方のご努力が評価されての栄誉であります。日頃よりご尽力くださる皆様に改めて感謝申し上げるとともに、今後も立川のオペラの普及と振興のために、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、贈賞式は9月19日(金)に執り行われ、賞状と賞金50万円が贈呈されます。



【受賞理由】

砂川稔総監督のもと、実力派の歌手を若手中心に適材適所で起用、市民参加の合唱団、管弦楽団に地元音楽大学有志も加わって、好水準の公演となった。出演者、スタッフらの意欲に満ちた取り組みが《アイーダ》の音楽の楽しさを伝え、きらびやかな衣裳は目を楽しませた。古谷誠一の指揮、直井研二の演出とも、専門家と市民双方のオペラへの意欲を巧みに引き出し、結び付けている。立川市民オペラは1992年に第1回公演《カルメン》でスタート、2012年の《トゥーランドット》も市民参加オペラとして立派な舞台であり、着実に向上を続けている。市民、財界、教育機関、(公財)立川市地域文化振興財団らが一体となって活動を推進しており、地域に根差したオペラとしてさらなる継続と発展が期待される。

(佐川吉男音楽賞実行委員会)

◆佐川吉男音楽賞とは?

音楽評論家として活動した故・佐川吉男氏の業績を関係者の心に留めるとともに、生前佐川氏が専門としていたオペラやチェコ、スロバキア関係の音楽活動振興を主な目的とし、同夫人、佐川悦子氏によって設立されました。中小オペラ団体が主催する公演で特に優れた成果をあげたものに贈られます。

: 過去の受賞団体

国立オペラ・カンパニー青いサカナ団、堺シティオペラ、財団法人読売日本交響楽団、財団法人愛知県文化振興事業団、財団法人ニッセイ文化振興財団、財団法人帰宅文化振興財団、長崎県オペラ協会、ニュー・オペラシアター神戸、愛媛オペラ 2010 実行委員会、まつもと市民オペラ、地域振興芸術委員会 など(順不同)

